

# ゲノム診療科（ゲノム医療部）

## ■ スタッフ

科長（部長）	奥川 喜永
副科長（副部長）	藤原 拓海
外来医長	橋詰 令太郎
研究医長	北嶋 貴仁
認定遺伝カウンセラー	望木 郁代
臨床検査技師	池尻 誠 中村 麻姫
協力者 臨床遺伝専門医	9名
臨床遺伝専攻医	約16名

## ■ 特色・診療対象疾患

当診療科は、三重県下で唯一のゲノム医療を提供する診療部門として設置されました。当院のゲノム医療は、2つの部門からなっています。

1つは、近年がん診療の新しい潮流となっています**がんゲノム医療部門**です。これは、がんの遺伝的特性を見極めて、治療に結びつけようというものです。2017年10月より、東海・北陸地域では初となるがん遺伝子パネル検査（自由診療）を開始し、その実績を受けて、2019年9月には国から**がんゲノム医療拠点病院**の指定を受け、2023年4月にはその指定更新も認められ、当院に連携する伊勢赤十字病院とともに、三重県下の患者様に、保険診療のがん遺伝子パネル検査を提供しています。

もう1つは、遺伝性疾患の診断を目的とする**臨床遺伝部門**です。遺伝性疾患には、神経・筋、心、内分泌をはじめ、さらには小児・周産期領域など、様々な領域に渡っていますので、様々な診療科と連携をとっています。また、遺伝性乳がん卵巣がんなどの遺伝性腫瘍の診断も行っており、三重県内のがん拠点・準拠点・連携病院のなかで唯一、遺伝カウンセリング加算認定施設として、県内医療機関と連携し、遺伝性腫瘍に対するサポート体制を提供しております。また遺伝に関わるさまざまな不安や疑問をお持ちの皆様には、**遺伝カウンセリング**を提供しています。ここでは、ゆっくりと皆様のお話を伺い、最新の情報を提供しながら疾患のご説明をいたします。

当科は、本邦におけるゲノム医療のトップランナーとして、三重県内の様々な医療機関と連携し、地域の皆様に最新の遺伝医療を提供しています。

## 1. 当科の特色

- **がんゲノム医療**  
保険診療、自由診療のがん遺伝子パネル検査を提供し、がん診療に活用します。
- **遺伝性疾患の遺伝子診断**  
遺伝子検査により、疾患の確定診断をして、以後の治療へ繋がります。
- **遺伝カウンセリング外来**  
皆様の疑問や不安にお答えしています。

## 2. 主な診療対象疾患

- 固形がんのゲノム医療  
(がん種は問いません)
- 遺伝性疾患  
遺伝性の神経疾患、筋疾患、心疾患、など
- 遺伝性腫瘍  
遺伝性乳がん卵巣がん、遺伝性大腸がん、  
遺伝性甲状腺がん、など
- 染色体異常

## ■ 活動実績

### 1. 治療実績

- がん遺伝子パネル検査
  - 保険診療検査  
FoundationOne® CDx : 193件  
OncoGuide™ NCC オンコパネル : 52件  
FoundationOne® Liquid CDx : 102件
  - 自由診療検査  
Guardant : 1件  
その他 : 1件  
シングルサイト検査 : 22件  
家族性大腸ポリポーシス（遺伝性大腸がん） : 1件  
リンチ症候群（遺伝性大腸がん） : 6件
- 遺伝子診断
  - 遺伝学的検査 : 147件
  - 遺伝性腫瘍（2次の所見の確認含む） : 35件
  - 体細胞遺伝子検査 : 477件  
神経芽腫 : 74件、造血器腫瘍 : 403件
  - ゲノム診療科外来 923件（うち、遺伝カウンセリング外来 : のべ235件）

### 2. 教育活動の実績

- 臨床遺伝専門医の育成
- 臨床遺伝に強いコメディカルの育成
- 厚労省委託事業「がんのゲノム医療従事者研修事業」

- 日本臨床腫瘍学会 中核拠点病院以外のゲノム医療教育事業ゲノム医療ことはじめ

### 3. 臨床研究等の実績

---

- 「大腸がん診療における遺伝子関連検査等のガイドランス改訂第5版」の策定
- AMED「ゲノム医療の実装に資する臨床ゲノム情報データベースの整備と我が国の継続的なゲノム医療実施体制の構築」

#### ■ 今後の展望

常に国内外の最新の情報を収集し、最新技術の導入をしながら、三重県においても、本邦で最新・最良のゲノム医療を提供いたします。

---

[▶ https://www.hosp.mie-u.ac.jp/section/genome/](https://www.hosp.mie-u.ac.jp/section/genome/)